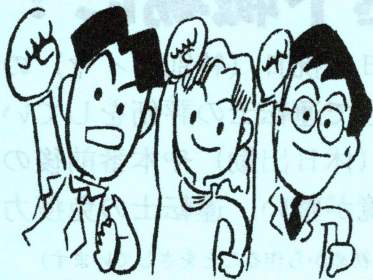


建交労・京王新労組支援共闘ニュース

東京都江東区門前仲町1-20-3 Tel 03-3820-8644 2020年6月1日

京王新労組団交でバス運手士への コロナウイルス感染防止策取らせる

4月9日には京王バス運転士の感染が確認されました。また、感染者が京王バスを利用したことも明らかに。コロナウイルス感染拡大防止対策を国土交通省がバス車内換気や消毒対策だけでなく、バス運転士への感染予防策をとるよう要請を出していました。各バス会社は対策をとっている中、京王の対策だけが遅れていました。職場でも不安の声が上がる中で京王新労組が団体交渉で求め実施させました。

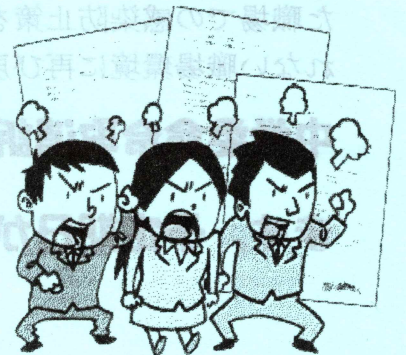


国土交通省の対策は具体的にはバス運転士への感染防止のためソーシャルディスタンスとして車内最前列の使用禁止や飛沫防止のための運転席でのスクリーン等の設置です。

京王は「施策の有効性や効果について、科学的根拠を裏付けとして冷静に見定め、お客様と社員双方の視点に立って、実施の可否を決定している」として両者を実施していないという通達まで出していました。バス車内最前列を使用禁止にすることについては「お客様だけが車両の後部へ偏ることを強制」させることになるというのです。京王はいち早くバスの減便（便数が減るため一台あたりの密度は濃くなる）を実施したくせに、です。

団体交渉を申し入れたのは連休前で、毎日のように早期開催を申し出ていました。ところが実施したのは連休も明けた5月13日でした。運転士は感染拡大の中でも使命を果たし、毎日、感染を恐れながらも運行をしているのに拘らず、です。団交では先ず開催が遅れたことへの抗議から始まりました。団交申入れと共に口頭ではありましたが感染防止策は早急に行うよう申し入れて、最前列座席の使用禁止については翌日に対応してきました。しかし、スクリーンは未実施、団交で会社は「安全性が担保できない（外れた場合に運転操作に支障が出て危険）」と言い訳しました。新労組からは他社が行っているのは「安全性が担保」できないのに実施しているのか。運転士が感染でもしてクラスターを発生させたら、営業所が封鎖されて運行が止まりかねない。それこそ社会的使命が果たせなくなる、先ずは運転士を感染から守ることが第一だと強く主張。それでも実施するとの返答がなく、本社に電話して関係部署を説得せよ、実施の返答までは団交は終わらせないと強く主張しました。それでも次の予定があると会社は席を立ってしまいました。しかし、返答だけは電話で書記長にすると約束させました。残念ながら当日に返答がないことから、新労組は社会的な批判行動を行いました。翌14日夜になって会社からスクリーンの実施の返答を得ました。初めから組合の言うことをきいてればいいのに。

連合労組は組合員からの感染防止対策 要請にそっぽ向く！！



運転士への感染防止のコロナウイルス対策は当然、職場の連合労組員からも切実な訴えとなっていました。京王電鉄バス八王子営業所の有志は連合労組本部に直接訴えたりもしていました。しかし、会社の対策は不十分なことから、組合員有志は職場組織を通じて5月8日付けで組合本部執行委員長と自動車（バス）支部長宛に会社に対策をとらせるよう要望書を提出しました。

対応した連合労組本部執行部は、この要望書の宛先の自動車支部長名の誤字（宮寧→宮森）をみつけ、「こんな名前の役員はいないので受け取らない」とそっぽを向きました。当然ですが職場組織の組合員たちはカンカンです。京王、会社も変ですが労働組合も変です。

計画残業を減らせば免疫力向上し感染防止に 宣言解除再び計画残業増やし免疫力低下職場に！

コロナウイルス対策で京王がいち早く取った策は平日の運行本数を日・祝日（特別ダイヤ）の運行にして運行本数を減らしたことです。京王では計画残業時間の多さで運転士の評価をしています。多ければ多いほど評価点数が良いのです。ところが今回は公出（休日出勤）や本番前後の業務（早出残業や居残り残業）の緩和（減らすこと）で体を休める環境が整い、運転士の免疫力が向上して感染防止に役立つというのです。（計画残業とは人員を少なくして残業を初めから作ることをさしています）

ちょっと待って下さい。ということは普段は運転士の体を休める環境に

はないということを自白していることになります。

会社の論理では計画的な残業を多くこなすことを評価し、計画残業を推奨することは、免疫力が低下するほどの職場環境を悪化させることになります。安全が第一な職場で免疫力が低下するほどの職場環境では安全運転は保てません。

免疫力について調べてみました。免疫力を高めるためには白血球を多くすることのようです。そのためには睡眠やストレス、入浴などが関係するとも。

となると、やはり一人がこなす業務量は少なくし睡眠時間を確保しなければなりません。確かに京王が取った計画残業時間を減らす感染防止策は科学的な根拠を持つようです。安全運行第一の職場環境に、計画的に残業時間の多さで競わせる評価の仕方には問題があることを、京王は科学的根拠に基づいて知っているということです。

緊急事態宣言も解除されました。ただコロナウイルスと対策は必要です。宣言の解除とともに学校も職場も始まり

は上手く付き合うために

京王のバスも特別ダイヤでの運行をやめると発表しています。すると京王がいち早くとった職場での感染防止策をもやめることになりました。京王は免疫力が低下するほどに体を休められない職場環境に再び戻すことに責任を持っているのでしょうか。

中労委命令取消訴訟・地位確認最高裁・都労委ともに審理が中断してい

ます。予定期日が入りましたら、傍聴等ご支援をお願いします。

